

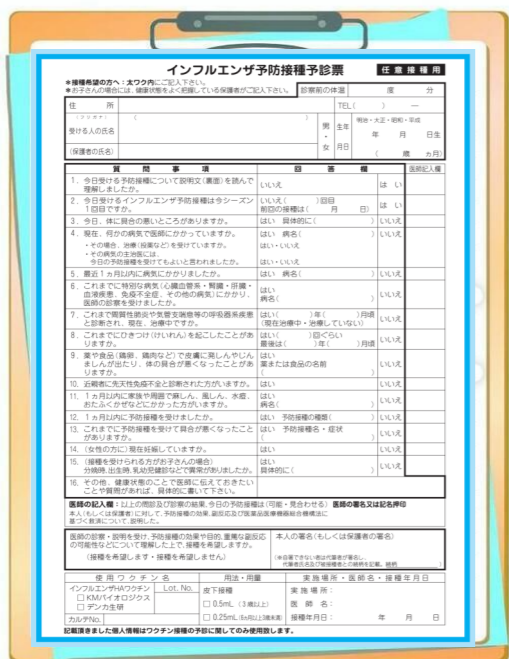
お知らせ

インフルエンザ予防接種について

インフルエンザワクチン接種を10月～11月に行います。
下記に該当する方は接種費用を無料でご利用いただけます。

- (1)令和6年1月31日時点で満75歳以上の方
- (2)令和5年7月時点で生活保護
または中国残留邦人等支援給付を受けている方

* (1)(2)に当てはまらない方:2,500円



- ・接種を希望される方は区から送られてくる予防接種予診票を持参してください。
- ・予診票を紛失された方やお手元に届いていない方は各市区町村の専用窓口までご連絡ください。

編集後記

涼しくなり過ごしやすくなりました。秋は食欲の秋と言われ、旬の食べ物が店頭並びワクワクしますね。食べ過ぎに気をつけながら旬の食べ物を楽しみたいですね。

コロナが2類から5類に引き下げられ、近年の夏とは違い各地で4年ぶりに花火大会や、お祭りなどが開催され参加された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。我が家も感染予防をしながら夏祭りに参加しました。太鼓の生演奏や、中学生によるブラスバンドの演奏、子供たちの一生懸命踊る姿を見て感慨もひとしおでした。油断は出来ませんが、感染症に気をつけ外出を楽しみたいですね。

令和5年10月1日
クリニック通信 /
NO.132 / 秋号



発行
新小岩クリニック
〒124-0023
葛飾区東新小岩5-20-22
TEL 03-3694-5621
FAX 03-3694-5628

新小岩クリニック船堀
〒134-0091
江戸川区船堀4-4-24
TEL 03-3688-9901
FAX 03-3688-9973

最近の新型コロナウイルス感染によせて

新小岩クリニック
副院長 西尾 信一郎

みなさまこんにちは。今年は例年に増して記録的な猛暑が続きましたが、みなさまは如何お過ごしでしたでしょうか？本稿を寄稿中は残暑も厳しいのかな、と思いながら書いておりました。暑さに加え、ロシアのウクライナ侵攻などによる物価上昇に各業界苦勞を強いられる夏でした。現状をみるともうしばらく我慢が続くような局面です。

一方で新型コロナウイルスの方は、感染対策、ワクチンの普及が進み、ウィルス自体の弱毒化もあいまって2類感染から5類感染に移行した通り、重症化しにくくなりました。しかしながら感染者数は高止まりしているのが現状です。世の中としてはコロナも下火、普通に風邪といった雰囲気が出されておりますが、透析を受けられている患者さまにおいては、数多くの基礎疾患を有するケースが多く、感染する機会が多く、重症化のハイリスクに当たります。また、透析医療は患者さま、スタッフともに一ヶ所に集まって治療を行うという特性があり、そのため感染が蔓延しやすいという弱点があります。実際に他の医療機関でも院内感染によるクラスター発生、病棟閉鎖を余儀なくされるなどのケースを今でも耳にします。

これまで当院では個発例はある程度ありましたが、クラスターの発生はなく経過してきました。これはひとえに患者さまの院内でのマスク着用や、不要な外出を控えるなどのご協力をいただけていることに尽きると思います。それに加えて、症状のある方は早急に検査を行う、感染であった場合は透析日時を変更してほかの患者さまから極力離す、などの対応に注力してきたことも一因と思います。

このように患者さまのご協力、私たち医療者の対応の両輪によって感染対策がなされております。患者さまには今しばらくご不便をおかけしてしましますが、手洗い、院内でのマスク着用など基本的な感染対策には引き続きご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

もうすぐ冬がきます。体力を落とさぬよう頑張りましょう。



《ダイアライザ》

新小岩クリニック 臨床工学技士

〈積層型ダイアライザ〉



〈中空繊維型ダイアライザ〉



6月より当院に積層型ダイアライザ(H12ヘモダイアライザ)を導入しました。今、みなさんが使用している中空繊維型ダイアライザは、糸状の透析膜を8000~10000本束ねたものを円筒状の容器に詰めた構造になっています。一方積層型ダイアライザは、透析膜を平らにしてミルフィーユ状に重ね、その間を血液と透析膜が膜を隔てて流れる構造になっています。

積層型ダイアライザの特徴は、毒素による炎症を効率よく除去し、アルブミンの漏出量が少ないことです。なので、高齢者や低栄養の患者さまや炎症値が高い患者さま、下肢の血行状態の悪い患者さまに効果があります。透析方法や時間の中空糸型のダイアライザを使用した方法と変わりません。またACE阻害薬(降圧剤)服用患者は血圧低下やショックを招く恐れがあるので使用はできません。

注意点のある器具にはなりますが、特徴を理解し適切な使用を行えば強い味方になってくれるものと期待しています。

《感染症予防について》

新小岩クリニック船堀 看護部

コロナ、インフルエンザなどの感染症は、ワクチン接種することによって感染しても重症化することを予防できます。(感染しなくなる訳ではありません)各自でできる予防対策として、手洗い・うがい・換気・適切なマスク着用等があります。

コロナに関しては2023年5月から感染症分類が2類から5類に引き下げられましたが、増減を繰り返しています。インフルエンザも冬だけに限らず、夏でも感染増となっていました。

コロナの感染も変わってきています。

「風邪ぎみだった」「発熱したが、すぐにさがった」

「熱はないが喉が痛い」等いつもと違う症状があった時は、

早めにクリニックに連絡してください。

『三密』『非常事態宣言』『外出自粛』など様々な初めての経験をしました。不自由な事も多くありましたがその間に身につけた感染症予防を、これからも継続していきましょう。



透析20周年



T.Hさん(新小岩クリニック船堀)

◆ご本人の談話

感謝以外言葉が見つかりません。まさか20年を迎えられるとは考えていませんでした。突然の発熱で入院。原因が分からず大学病院へ転院し、そこで初めて腎機能低下を指摘されました。そこからあっという間に透析を始めることになりました。いろいろありましたが20周年をこうして迎えられて感謝の気持ちです。今までサポートして下さいました先生方、スタッフの皆さんありがとうございます。これからも通院を続けられるように頑張ります。

◆武田院長からのお祝いのことば

20周年おめでとうございます。これまでの長い間、様々な合併症による困難を何度も乗り越えてこられ、大変なご苦労があったと思います。まだまだ通過点ですので、明るくお元気で、これからもよろしくお願ひ致します。

◆看護師からのお祝いのことば

20年おめでとうございます。新小岩クリニック船堀へは2010年から通院されているので、透析生活の半分以上を船堀で過ごされています。その間にも、様々な合併症や、治療のため入院されることがあり、大変だったと思います。そんな中でも、いつも笑顔で明るくお話しされるのが印象的です。これからも安定した透析となるように、頑張ってください。応援しています。

透析30周年



T.Aさん(新小岩クリニック)

◆ご本人の談話

家族や周りの人たちのサポートがあってこそ30年だったと思い、とても感謝しています。透析を続けながら社会福祉サービスを利用し、家族やお世話になった人たちと有意義に素敵な時間を過ごしていきたいです。また、日々新小岩クリニックのみなさんにも本当にお世話になり感謝しています。ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

◆正木院長からのお祝いのことば

おめでとうございます。私が赴任する前から新小岩クリニックに通院されており、透析では“先輩”になります。初めて回診でお会いした時はまだ高校生だったと思いますが、成人して社会人となり、30周年を迎えられたことは感慨深いものがあります。いくつか合併症はあるものの、入院や手術、シャントトラブルなどはほとんどなく、自己管理がうまくできているのだと感心します。百歳越えを目標に長期透析を目指しましょう。

◆看護師からのお祝いのことば

30周年おめでとうございます。お仕事をしながらの透析通院はとても大変なことだと思います。大きな節目をお迎えになったのはご自身の管理の賜物ですね。いつも関心のあることやグルメな話などを楽しく話して下さり、こちら元気をもらっています。これからは35年、40年を目指して一緒にがんばっていきましょう！

